未来予想図（みらいよそうず）

寝屋川市立梅が丘小学校　　２０２３・４・１１

校長室通信　　No.　１

みんなの命は たった一つしかない大切なもの・・・

４月10日（月）の体育館での「始業式」で話した内容です・・・。

校長先生は、お父さんとお母さんから生まれました。校長先生のお父さんとお母さんも、それぞれのお父さんとお母さんから生まれました。1代さかのぼると2人、2代さかのぼると6人、3代さかのぼると14人。つまり校長先生は14人から生まれたことになります。

では、10代さかのぼると何人になるでしょうか。正解は、1024人です。もっとさかのぼります。20代さかのぼると104万8576人、30代さかのぼると10億7374万1824人。

つまり、10億7374万1824人のうち、1人でもいなければ、校長先生は生まれていません。

みんなも同じです。みんなは、それぞれ何百億人、何千億人以上の命を受けついで生まれてきたのです。命が誕生するということは、きせきと言えるのかもしれません。だからこそ、命を大切にしてほしいのです。自分の命も、友だちの命も、まわりの人たちの命も、動物や植物の命も・・・。

何十年も前のことですが、寝屋川市内の中学校で起こった事件の話をします。

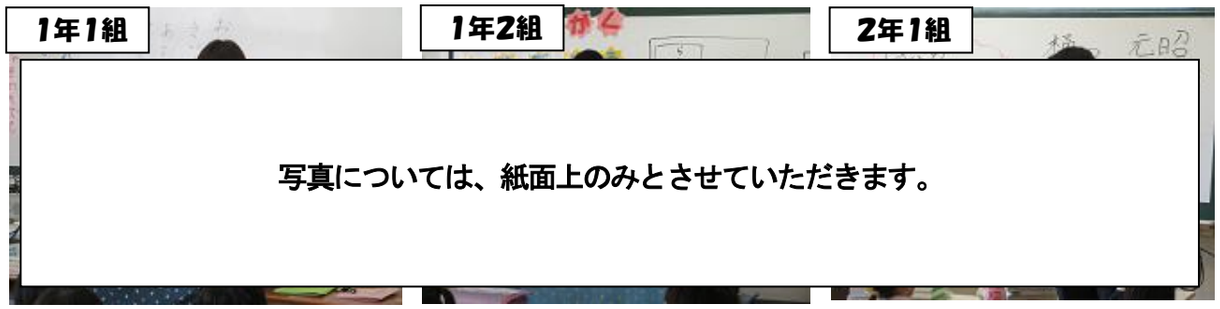
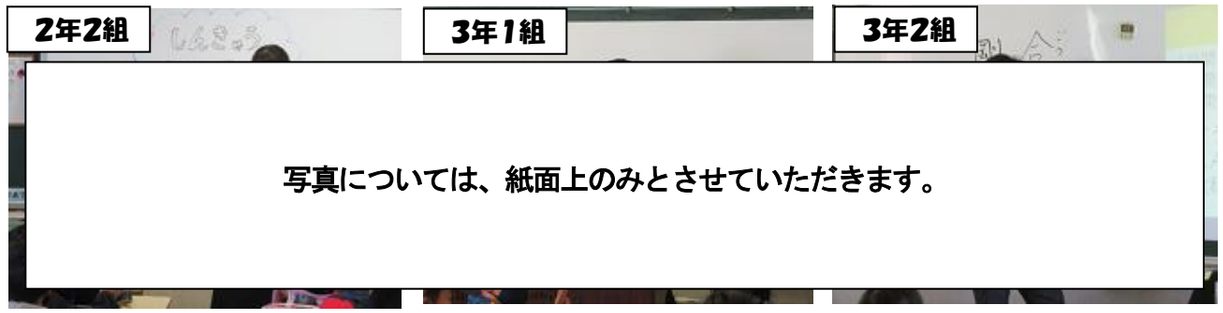
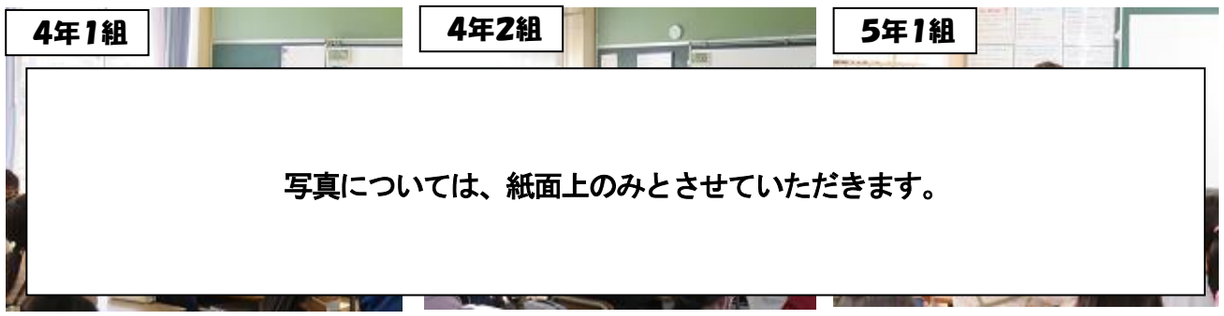
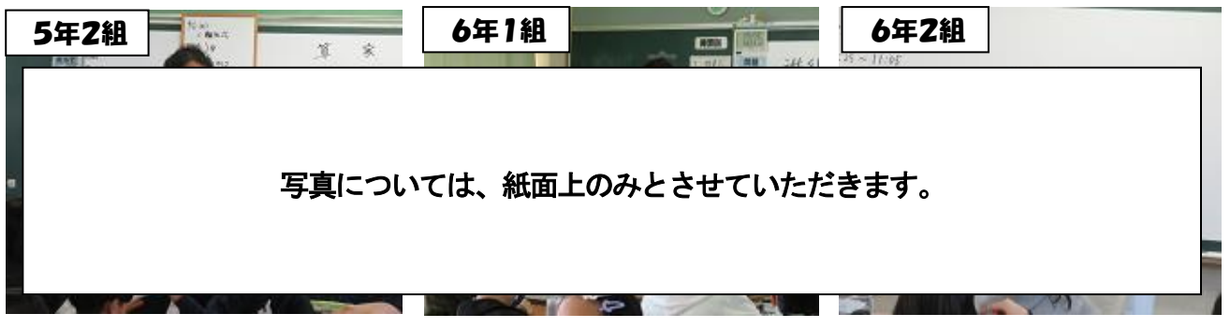
昭和43年7月2日のことです。梅雨のまっただ中ということで、寝屋川市内では、朝から大雨が降っていました。雨は、その日で3日間、続いていました。外に出て遊ぶことができなかった子どもたちは、休み時間になると、教室や廊下を走りまわっていたようです。そして、遊んでいるとき、誤ってガラスを割ってしまいました。いつもなら、すぐにかたづけるところなのですが、大雨のために、割れたガラスを外に捨てに行けませんでした。そのため、後で片づけることになり、割れたガラスは、教室のすみのゴミ箱におかれたままにしてありました。

昼休みになり、ガラスを割った子どもとは別の男の子が、友だちと教室で遊んでいました。遊んでいるうちに、割れたガラスに気づかず、後ずさりしたとき、そのガラスが、その男の子の太ももにつき刺さりました。刺さった場所からは、血が大量にふき出し、血はなかなか止まりませんでした。先生たちがロープでしばって、やっと血が止まり、その後、救急車で病院に運ばれました。輸血をしながら傷口をぬい、夕方には意識を回復したものの、その後状態が悪くなり、残念ながら、その男の子は、その日の夜中に亡くなってしまいました。中学一年生の男の子でした。この悲しい事故の後、その男の子のお父さんは「学校で、二度とこのような事故が起こってほしくない」という思いを込め、その学校の正門を入ったところに「健康・安全」の文字が刻まれた石碑を寄贈されました。

梅が丘小学校の先生たちが、日ごろからみんなに、危険な遊びや悪ふざけ、特にガラスの破損についてきびしく注意をするのは、「みんなの大切な命を、絶対に守る！！」という、強い思いがあるからです。みんなの命は、たったひとつしかない、大切なものです。命を落としたり、取り返しのつかない大けがをしたりすることは、絶対にあってはならないことです。みんなは、家族をはじめ、たくさんの人たちに支えられた育てられてきました。自分の命も、そして周りの人の命も、ぜひ大切にしてほしいと、心から思っています。

先生たちも一生懸命がんばります！！

梅が丘小学校のみんなが、新しい気持ちで「がんばろう」と思ってくれている姿を見て、先生たちは、とてもうれしい気持ちになっています。先生たちも、一生懸命がんばります。

みんなで、「楽しい学級」・「すばらしい学校」にしていきましょうね！！

【４月８日（金）の各学級の様子です】